



姉妹都市である旭川市の旭山動物園をイメージした砂像
(旧有木スタンド跡)

田代 直樹さん (41)

[NPO 法人プロジェクト南からの潮流 会員
/ (株)田代設計工房 取締役]

南さつま **縁人** VOL.36
MINAMISATSUMA ENGINE

砂の祭典を活かして地域おこしを行いたいーそんな想いから平成13年にNPO法人プロジェクト南からの潮流は設立されました。現在の活動は市民ふれあいギャラリーの運営や加世田麓のまち歩きガイドなど、主に文化的活動や各種イベントを通じた地域おこし事業で、砂の祭典では実施推進本部のメンバーとして会員が参加しています。

田代さんは学生の頃からボランティアスタッフとして、父である理事長の昌弘さんの手伝いをしてきました。その流れからNPO法人の会員として、長年に渡り砂の祭典の運営・企画に携わっています。運営では、いろんな人たちの意見で作り上げるイベントにすることを大事にしており、「砂の祭典は地元の活性化に繋がるイベントで、市役所のほか、民間企業や地元の商工会、学生なども参加している。より良いイベントにするため、さまざまな意見を取り入れて市の活性化に繋げていきたい」と意欲を示しています。

吹上浜砂の祭典は、1987年から開催している本市の一大イベントです。今年は5月1日から3日間、「まちなか」で開催されます。今回は新しい生活様式に合わせて会場を分散しており、田代さんはこの取り組みによって、砂の祭典が時代や環境に合わせて進化しているイベントになることを期待しています。「今までにない試みで不安もあるが、市民が地元を散策し、砂の祭典だけでなく自分たちのまちの魅力に改めて気付いて興味を持ってほしい」と、話しました。

いつもと違う「まちなか」の砂の祭典に参加して、自分たちのまちの新たな発見を試してみませんか。



加世田麓のまち歩きガイド

南さつま市に住む人、働く人、生き生きと活動している人を、南さつま市の輝く原動力（エンジン）としてご紹介します。